

【2022年1月号の内容】

- 1) 日本企業の支払い振り、良さ際立つ=D&B調査
- 2) 国内106銀行 預貸率61.9%で最低を更新、預貸ギャップ350兆円に拡大
- 3) ノーベル賞で注目の「気候モデル」から、地球温暖化を考えてみよう！
- 4) 自宅を断熱リフォームして、健康・省エネな暖かい冬のおうち時間を

【1】日本企業の支払い振り、良さ際立つ=D&B調査

.....

ルーマニアは約束した日に代金を支払う割合は約1割——。

日本では、仕入などの代金の支払いが約定期日に遅れると信用が低下する。

決済期日の支払いは「当然」だからだ。

だが、国が違くと受け止め方が違うから、話はややこしくなる。商慣習や

国民性の違いはあるが、海外企業が期日に支払う比率は、最高がデンマークの88.6%、最低はルーマニアの13.1%だった。

先進国でも「支払遅延」が日常的に起きている。

これを日本人の感覚でおかしいと軽々に判断できない。

■詳しくはこちら

https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20220109_01.html

※外部サイトとなります。

【2】国内106銀行 預貸率61.9%で最低を更新、預貸ギャップ350兆円に拡大

.....

2021年9月中間期の国内106銀行の預貸率は61.9%（前年同期64.1%）で、

前年同期から2.2ポイント低下した。預金が貸出金の伸びを上回り、

9月中間期では調査を開始した2008年以降で最低となった。

貸出金合計が571兆522億円（前年同期比0.1%増）と僅かな増加にとどまった。

一方、預金合計（預金+譲渡性預金）は921兆5,743億円（同3.6%増）と

大きな伸び率をみせ、預貸率をさらに低下させた。

■詳しくはこちら

https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20220106_01.html

※外部サイトとなります。

【3】ノーベル賞で注目の「気候モデル」から、地球温暖化を考えてみよう！

.....

2021年のノーベル物理学賞に選ばれた、米プリンストン大学上席研究員の真鍋淑郎さんが、12月6日、米首都ワシントンで開かれた式典でメダルと賞状を受け取りました。

真鍋さんが開発した「気候モデル」は、地球の気候を物理法則に基づいてシミュレーションすることで、CO₂の増加が与える気候への影響を初めて明らかにしたものでした。

今回の受賞のニュースで地球温暖化についてあらためて関心を持った方も多いのではないのでしょうか？

今回は、同分野の研究を行っていて、真鍋さんとの交流もある、国立環境研究所の江守正多さんにお話を聞きました。

■詳しくはこちら

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/kaiteki/topics/20211227.html>

※外部サイトとなります。

【4】自宅を断熱リフォームして、健康・省エネな暖かい冬のおうち時間を

.....

風が冷たくなり、暖房の恋しい季節になりました。

おうち時間も長くなるこの時期、暖房もなるべく省エネに使いたいですよね。

以前、夏の暑さ対策としての断熱リフォームを紹介しましたが、断熱リフォームは冬にも効果的な寒さ対策ができます。

環境省では、「みんなでエコ住宅チャレンジ」として、ご自宅の断熱リフォームを呼び掛けています。

■詳しくはこちら

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/kaiteki/topics/20211222.html>

※外部サイトとなります。

※本メールは EST Group のサービスをご利用いただいた方にお送りしています。
※今後 EST Group からのご案内が不要の場合、ご連絡ください。
※記載された内容は予告することなく変更される場合があります。

EST Group 株式会社

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2 丁目 1-14

(C) EST Group. All rights reserved.